



「ポストコロナ」の新たなスタンダード メールカウンセリングエッセンス

監修・執筆：山本 晴義 編集・執筆：杉山 匡 執筆：李 健實 発行：労働調査会 定価：3,300円(税込)

監修・執筆の山本晴義氏は、「20年以上にわたり12万件の相談に一人で回答してきたメール相談の第一人者」である。特に、2000年にメール相談業務を開始してから長年「受信から24時間以内の返信」ルールを1年365日徹底されてきたことは、深く敬服するところである。

本書は「メール相談」に関わる相談員だけでなく、対面・電話・SNSなどのさまざまな形式で相談業務に関わる相談員（カウンセラー）にとって、多くの事例から幅広い社会的課題と支援策を学んだ上で、自身の相談手法を見直し、相談スキルを向上させるのに最適の書である。企業の産業保健スタッフや人事労

務担当者、さらには管理監督者にとっても、日頃の社員・部下とのメールやチャットでのやりとりでのトラブル防止の観点から、本書で学ぶことも多い。特に、昨今急速に広がるテレワーク環境下においては、対面や電話でのコミュニケーションが制限され、テキスト形式での会話が多い中、注意すべき点や言葉の選び方などの心得やスキルを得ることができる。

新型コロナウイルス感染症関連も含む50以上もの相談事例、相談メールの読み取り方や作成のコツの他、エッセンスが凝縮された36の「山本語録」など、盛りだくさんの内容であり、手元に常備しておきたい1冊である。

いわみ ただし
石見 忠士
(こころの耳運営事務局 事務局長)



現場におけるメンタルヘルス対策の手引き 要説 産業精神保健 改訂第2版

著者：廣 尚典 発行：診断と治療社 定価：4,730円(税込)

働く人々の精神保健（メンタルヘルス）に関心のある学生、職場担当者、医療職に必要なすべてが、この本には詰まっている。多くの論文、講義、経験から得た知見の要点を、専門家自身が書きとめたノートのように感じる。現行制度がよくわかる過去の議論の経緯、学術的知見の背景にある理論や原則、事例対応にそのまま使える情報整理シートとヒント集、頻出する課題や疑問とその解決策など多彩な問に対する模範解答である。改訂版は、両立支援などの新たな話題、図表、統計を追加しているが、ネット検索可能な資料を割愛し、ページ増を最小限に抑えている。

最大の特徴は、産業精神保健の本道を長年歩んだ人物が自ら書いた渾身の1冊という点である。筆者は40年以上前から読書家であり、用語にこだわり、納得するまで掘り下げて理解してきた努力家であるため、厳選した引用論文リストやキーワードの索引が充実している。20年余の専属産業医と10年余の研究教育者としての豊富な経験に基づく事例、概念説明図、チェックリストも満載されている。企業がなぜメンタルヘルス対策をするのか、どのように取り組むのが標準的か、専門職の立場や役割をどう考えるか、第一人者のテクニックを学修できる1冊である。

ほりえ せいち
堀江 正知
(産業医科大学 副学長／産業生態科学研究所
産業保健管理学的研究室 教授)

編集委員（五十音順・敬称略）

委員長	相澤 好治	北里大学名誉教授	興梠 建郎	新潟産業保健総合支援センター所長
	大西 洋英	独立行政法人労働者健康安全機構産業保健担当理事	高倉 俊二	厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
	加藤 隆康	豊田衛生管理者研究会顧問	田中希実子	元NTT東日本健康管理センター看護部長
	神村 裕子	公益社団法人日本医師会常任理事	浜口 伝博	ファームアンドブレイン社代表／産業医
	甲田 茂樹	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所所長代理	東 敏昭	一般財団法人西日本産業衛生学会特別顧問